

## 精神障害

何らかの精神疾患のため、継続的に日常生活や社会生活に支障のある状態全般を「精神障害」としています。症状や程度は一定ではなく、病因や病態、予後などに個別性が高いため、丁寧な対応が必要です。修学にあたっては本人が必要な医療を継続して受けることが前提であり、その上で主治医の意見や治療の状況を踏まえながら、教育機関として必要かつ可能な支援を探っていくこととなります。

主な精神障害としては、統合失調症、気分障害（うつ、双極性障害）、不安障害、パニック障害、適応障害、強迫性障害等があります。

主な困難	支援例
体調が不安定である	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事後の欠席の連絡を認める</li> <li>• 通院や体調不良で欠席となった場合、授業資料の提供や、代替課題の提出による出席上の配慮</li> <li>• 課題の提出期限の延長</li> <li>• 授業中の服薬の許可</li> <li>• 授業中の中途入退室の許可</li> <li>• 試験を欠席した場合の追試験や代替課題等の実施</li> </ul>
対人緊張が強い	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業が始まり、教室が落ち着いてからの入室の許可</li> <li>• 聴覚過敏に対して静かな席の確保</li> <li>• グループワークや発言を求める際に適切な方法を事前に相談する</li> </ul>
大人数の学生の前での発表ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業中の指名を避ける</li> <li>• 発表がある場合は教員との個別の場での発表や、発表原稿の提出に替える</li> </ul>

